

【点検シート】(担当課実施結果)

【評価シート】

1. 代替性

1. 代替性

① 法定施設(法令上の設置の義務がある施設)ですか？
 【法令で定められ、制度改正も見込んだ上で、今後もそのまま継続して管理運営する必要があるか】

ア. 法令上設置が義務付けられていますか(必置施設ですか)？
 はい いいえ

イ. 法令上の設置の義務付けの有無に関わらず、継続して管理運営する必要がありますか？
 ある ない

(「ある」と回答した場合は必ず記入してください。)
 i 社会環境の変化、制度改正の見込み、を明記した上で、この施設個別の理由、判断根拠を記述してください。

「ふるさとの宝」である野間馬を貴重な財産として次代に引き継ぐ環境を整えることは、動物愛護と情操教育の涵養、地域の生活文化への関心など、次代を担う子ども達の健全な育成に対して高い効果が期待できる。当施設は、市内外からの利用者が年間約10～13万人あり、野間馬とのふれあいの機会を確保する唯一の施設であるため。現在は指定管理制度を導入しており、今後も同様に管理運営していく必要がある。

項目① 法定施設(法令上の設置の義務がある施設)ですか？

(絶対的評価)		評価基準	
		はい	いいえ
設問1 (70-Q1)	法令上設置が義務付けられていますか。(必置施設ですか)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

(相対的評価)		評価基準				
		3	2	1	0	-
設問2 (70-Q5)	法令上の設置の義務付けの有無に関わらず、今後も現状のまま管理運営するにあたり必要性について検証できていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 現状を理解して具体的に検証できている	<input type="checkbox"/> 一定の評価ができる検証ができている	<input type="checkbox"/> 抽象的ではあるが検証できている	<input type="checkbox"/> 検証できていない「代替性あり」	<input type="checkbox"/> 施設の性質上議論できない

(絶対的評価)		評価基準	
		ある	ない
設問3	今後も必置施設であり続ける見込み、また、今後必置施設になる見込みはありますか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

【点検シート】(担当課実施結果)

1. 代替性

③ この施設に広域性又は、拠点性がありますか？
 【この施設が対象とする範囲区分(ゾーン)が定められているか】
 【範囲区分(ゾーン)内に同種の施設がない、あるいは、範囲区分(ゾーン)内にある同種の施設の中でも核として位置づけられる施設か】

ア. この施設に範囲区分が定められていますか？
 はい いいえ

(「はい」と回答した場合は必ず記入してください。)

i この施設はどの範囲区分(ゾーン)を対象にしていますか？
 市全体 陸地部(全体)又は島しょ部(全体) 中学校区 その他

ii 「その他」の場合は、この施設の範囲区分(ゾーン)について 具体的に記入してください。

iii 範囲区分(ゾーン)を対象とした判断基準は何ですか？(「その他」の場合は、判断基準を記入してください。)
 交通機関 利用者の年齢 利用実態のデータ
 その他 (アンケート結果、団体利用申込など)

iv この範囲区分(ゾーン)を対象とした、判断基準の理由・根拠について、明確に記述してください。
 (社会環境等の変化により、公共施設が担う役割(意義)も変化していくと考えますが、その中でこの施設の性質も踏まえた上で根拠を記述してください。)

利用者は子どもから高齢者まで日常的に利用できる身近な公園として整備しており、利用客に制限はない。また、遠足利用の申込み状況は市内だけではなく、市外からの利用も多い。

イ. この施設に広域性がありますか？
 (「広域性」…一定程度の広い範囲区分(ゾーン)を対象としていること。今治市域全体、または県内、国内全域などを範囲区分(ゾーン)としている場合、「広域性がある」といえます。)
 ある ない

(「ある」と回答した場合は必ず記入してください。)

i 広域性があると判断した理由・根拠について明確に、また他施設(市あるいは民間)の設置状況も踏まえて記入してください。

利用者は子どもから高齢者まで日常的に利用できる身近な公園として整備しており、利用客に制限はない。また、遠足利用の申込み状況は市内だけではなく、市外からの利用も多い。

ウ. この施設に拠点性がありますか？
 (「拠点性」…対象とする範囲区分(ゾーン)の中で拠点としての性質があり、機能の面で核としての位置づけがされていること。)
 ある ない

(「ある」と回答した場合は必ず記入してください。)

i 拠点性があると判断した理由・根拠について明確に、また他施設(市あるいは民間)の設置状況も踏まえて記入してください。

全国で唯一の野間馬を保存育成する施設であり、野間馬を飼育する施設の拠点となっている。

【評価シート】

1. 代替性

項目③ この施設に広域性又は、拠点性がありますか？

		評価基準				
		3	2	1	0	-
設問1	(相対的評価) この施設の設置目的や役割において、範囲区分(ゾーン)の基準が適切ですか。	広域性(拠点性)の検証にあたって、施設の規模、機能、利用状況や利用者に応じて具体的な事例が提示できている	広域性(拠点性)の検証にあたって、施設の規模、機能、利用状況や利用者に応じた実態把握ができていない	広域性(拠点性)の検証にあたって、ゾーニングはできている	広域性(拠点性)の検証にあたって、ゾーニングできていない	施設の性質上議論できない
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
設問2 (70-Q4)	(絶対的評価) この施設に広域性又は、拠点性がありますか。	評価基準				
		<input checked="" type="checkbox"/>	ある	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>

【点検シート】(担当課実施結果)

1. 代替性

④ 施設の設置根拠、目的、施設機能が近隣(③で考えるゾーニング内)の市有施設と競合していませんか？
 【範囲区分(ゾーン)内で、他の市の施設と設置根拠、設置目的、施設機能が競合していないか】
 【近隣の市有施設に、設置根拠、設置目的を変更すれば施設機能の面で代用可能な施設はないか】

ア. 近隣の市有施設と競合していませんか？
 (条例等における設置根拠や目的と、施設内の個別の機能について検討してください。設置根拠、設置目的、施設機能のうち、いずれかでも競合していない場合は「競合していない」と回答してください。)

☒ 競合していない 競合している

競合していない理由、あるいは競合している理由を、設置根拠、設置目的、施設機能ごとに、記述してください。

i 設置根拠……条例、法令等(何に基づき設置されたか)
 今治市野間馬ハイランド条例を設置根拠とする施設は他にはない。

ii 設置目的……条例上の目的、あるいは実目的(何のために設置されたか)
 野間馬の保存育成及び利活用という設置目的が重複する市有の施設が他にないため。

iii 施設機能……施設の個別の設備や部屋が有している機能(その施設で何ができるか)
 放牧場、厩舎、展示コーナー等を有している施設は市内には存在しないが、公園、憩いの場の提供という点では近隣施設と競合している。

(「競合している」と回答した場合は必ずリストを作成してください。)
 ※「実績シート」【施設の概要(競合施設リスト含む)】に記入してください。

【評価シート】

1. 代替性

項目④ 施設の設置根拠、目的、施設機能が近隣(③で考えるゾーニング内)の市有施設と競合していませんか？

(絶対的評価)		評価基準	
設問1	近隣の市有施設と、設置根拠が競合していませんか。	☒ いない	いる
設問2 (70-Q8)	近隣の市有施設と、設置目的が競合していませんか。	☒ いない	いる
設問3 (70-Q7)	近隣の市有施設と、施設機能が競合していませんか。	☒ いない	いる

⑤ 施設の設置目的、施設機能が近隣(③で考えるゾーニング内)の民間等の施設と競合していませんか？
 【範囲区分(ゾーン)内で、民間等の施設と設置目的、施設機能が競合していないか】
 【近隣の民間等の施設に、施設機能の面で代用可能な施設はないか】

ア. 近隣の民間等(市有施設以外)の施設と競合していませんか？
 (設置目的、施設機能のうち、いずれかでも競合していない場合は「競合していない」と回答してください。)

☒ 競合していない 競合している

競合していない理由、あるいは競合している理由を、設置目的、施設機能ごとに、記述してください。

i 設置目的……条例上の目的、あるいは実目的(何のために設置されたか)
 野間馬の保存育成及び利活用という設置目的が重複する民間等の施設がない。

ii 施設機能……施設の個別の設備や部屋が有している機能(その施設で何ができるか)
 乗馬体験及び地域住民に憩いの場を提供可能な公園施設の民間の施設はない。

(「競合している」と回答した場合は必ずリストを作成してください。)
 ※「実績シート」【施設の概要(競合施設リスト含む)】に記入してください。

項目⑤ 施設の設置目的、施設機能が近隣(③で考えるゾーニング内)の民間等の施設と競合していませんか？

(絶対的評価)		評価基準	
設問1 (70-Q8)	近隣の民間等の施設と、設置目的が競合していませんか。	☒ いない	いる
設問2 (70-Q7)	近隣の民間等の施設と、施設機能が競合していませんか。	☒ いない	いる

【点検シート】(担当課実施結果)

1. 代替性

⑥ この施設が無くなると、市民生活に重大な影響を及ぼしますか？
 【施設が無くなると、地域住民の生活にどのような影響を及ぼすか？】

ア. この施設が無くなると、市民生活に重大な影響を及ぼしますか？

	及ぼす	及ぼさない
イ この施設が無くなると、市民生活にどのような影響を与えることになるか記述してください。 (与える影響範囲、影響する内容及び影響すると考える対象者について、具体的な数値を示した上で明記してください。 また、施設が無くなった場合にどのような対応が想定されるか具体的に記述してください。)		
(与える影響範囲(対象者含む))	(影響する内容・根拠)	
年間10~13万人前後の来訪者等	日本在来馬8馬種のひとつに数えられる野間馬と触れ合える貴重な施設であり、当該施設が廃止されると、人と馬とが共存した時代の象徴である野間馬文化の継承の機会が失われるだけでなく、市民をはじめとした来訪者の憩いの場も同時に失われることとなる。現在飼育されている野間馬、とべ動物園や上野動物園に貸し出している9頭の野間馬の拠点施設の廃止は多方面に多大な影響を与えることとなる。	
地域住民等	平成21年3月に策定された「今治市野間馬保存管理計画」においても、「今治市野間馬ハイランド外での野間馬の繁殖は原則禁止」と明記されており、野間馬の保存育成及び活用を行うことができる唯一の施設であるため、当該施設を廃止した場合、動物愛護と情操教育の涵養、地域の生活文化への関心など、次代を担う子ども達の健全な育成に対して高い効果が期待できる野間馬と接する機会を喪失するなど地域住民に与える影響は大きい。	

【評価シート】

1. 代替性

項目⑥ この施設が無くなると、市民生活に重大な影響を及ぼしますか？

		評価基準				
(相対的評価)		3	2	1	0	-
設問1	この施設が無くなると、市民生活においてどの程度影響を及ぼしますか。	重大な影響を及ぼす	一定程度の影響を及ぼす	若干の影響を及ぼす	及ぼさない「代替性あり」	施設の性質上議論できない
設問2	この施設が無くなった場合の市民生活に与える影響について、その内容、対象者、根拠等が具体的に示されていますか。	具体的かつ的確に示されている	一定程度の具体性は示されている	影響の内容は示されている	影響の内容が示されていない「代替性あり」	施設の性質上議論できない
(絶対的評価)		評価基準				
設問3 (70-Q2)	この施設が無くなると、市民生活に重大な影響を及ぼしますか。	及ぼす	及ぼさない			

【点検シート】(担当課実施結果)

2. 有効性

① 施設の設置目的に基づく達成すべき目標を設定し、かつ、そのことに対する成果が得られていますか？
 【条例等に定める施設の設置目的に対し、達成すべき目標を数値で設定し、その目標に対する成果が得られているか】
 【これまでの成果を検証し、随時その目標を見直し、施設を有効に活用するための検証が行われているか】

ア. 施設の設置目的に基づく達成すべき目標を設定していますか？
 設定している 設定していない

イ. 短期(年間)目標及び長期(複数年)目標を数値化していますか？
 数値化している 数値化していない

ウ. 短期(年間)目標の結果を踏まえて、短期及び長期目標を変更していますか？
 変更している 変更していない

エ. 数値目標に対する成果について、随時検証していますか？
 また、そのことに対する成果が得られていますか？
 (達成度(成果)の検証方法について、具体的に記入してください。検証時期及び頻度、取組内容、得られた成果についても必ず踏まえた上で記載してください。)

指定管理施設であるので、毎年提出される事業計画書に沿って市と指定管理者で協議しながら事業を行っている。指定管理者との協議時やモニタリング時において目標の達成度を協議しており、利用者の推移等を確認しながら、自主事業や市民共同事業の見直しを行うなどし、施設利用者の増員に努めている。

【評価シート】

2. 有効性

項目① 施設の設置目的に基づく達成すべき目標を設定し、かつ、そのことに対する成果が得られていますか？

(相対的評価)		評価基準				
		3	2	1	0	-
設問1	数値目標を定期的かつ柔軟に変更しながら、その達成度について検証していますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 数値目標の達成について検証し、数値目標を変更している	<input type="checkbox"/> 数値目標を変更していないが、達成度について検証できている	<input type="checkbox"/> 数値目標を変更しておらず、達成度についても検証できていない	<input type="checkbox"/> 数値目標を変更する必要性について検証していない、又は目標を数値化していない「有効性なし」	<input type="checkbox"/> 施設の性質上議論できない

(相対的評価)		評価基準				
		3	2	1	0	-
設問2	数値目標に対する成果が得られていますか。	<input type="checkbox"/> 取組により、効果が上がっている	<input type="checkbox"/> 取組により、一定の水準を満たしている	<input checked="" type="checkbox"/> 取組んでいるが、思った効果が得られていない	<input type="checkbox"/> 取り組んでいない「有効性なし」	<input type="checkbox"/> 施設の性質上議論できない

(絶対的評価)		評価基準	
設問3 (70-Q8)	施設の設置目的に基づく達成すべき目標を設定し、かつ、そのことに対する成果が得られていますか。	<input type="checkbox"/> 得られている	<input checked="" type="checkbox"/> 得られていない

② 今の設置目的を達成し、その役目を終えていませんか？
 【施設が設置目的のとおり、今後も引き続き利用される見込みがあるか】

ア. 条例等に定める施設の今の設置目的を達成し、その役目を終えていませんか？
 終えていない 終えている

イ. 役目を終えていない理由(引き続き利用が見込まれる理由)、または終えていると判断する理由を記述してください。
 (利用状況や利用者の要望ではなく、社会状況や国の指針、市の各種計画、市民ニーズにより、この施設の社会的役割が今後も求められているかどうかを問います。施設設置当時と現在の状況について、社会状況や市民ニーズの変化、利用者動向等を踏まえて具体的に記述してください。)

乗馬利用者数は年間12,000人前後と安定しており、「身近に動物と触れ合える美しい公園」として年間を通して数多くの入園者数がある。入園者数は一定の効果とみなすが、野間馬の保存育成及び活用も重要な役割であるため、入館者数だけでは測ることのできない価値・サービスを提供している。

項目② 今の設置目的を達成し、その役目を終えていませんか？

(相対的評価)		評価基準				
		3	2	1	0	-
設問1	施設の役目を終えていない理由について、具体的な内容が示されていますか。	<input type="checkbox"/> 具体的に示され、かつ内容を検証できている	<input checked="" type="checkbox"/> 理由を具体的に提示できている	<input type="checkbox"/> 理由が抽象的ではあるが提示できている	<input type="checkbox"/> 理由が示されていない「有効性なし」	<input type="checkbox"/> 施設の性質上議論できない

(絶対的評価)		評価基準	
設問2 (70-Q6)	施設の今の設置目的を達成し、その役目を終えていませんか。	<input checked="" type="checkbox"/> 終えていない	<input type="checkbox"/> 終えている

【点検シート】(担当課実施結果)

2. 有効性

③ 施設の設置目的に沿った利用がされていますか？
 【施設が本来の設置目的に沿って利用されているか】
 【違う目的の利用が多数を占めてはいないか】

ア. 条例等に定める施設の設置目的に沿った利用がされていますか？
 はい いいえ

イ. 現在の利用状況(利用目的、人数等)を記述してください。
 設置目的に沿って利用されていない場合はその理由も合わせて記述してください。
 (社会状況、利用者ニーズの変化等を踏まえ、この施設の利用者動向等の将来予測を踏まえて具体的に記述してください。)

年間約10～13万人の来場者があり、多くの人々に野間馬について知ってもらえている。地域の宝である野間馬を次代に継承するという目的にかなっている。また、年間を通して施設利用者を対象にアンケート調査を実施し、その結果(野間馬、モルモット等の動物とのふれあい目的54%)や指定管理者の報告等からも設置目的に沿った利用がなされていることがわかる。

【評価シート】

2. 有効性

項目③ 施設の設置目的に沿った利用がされていますか？

(相対的評価)		評価基準				
		3	2	1	0	-
設問1	施設を整備する際の計画内容(設置目的)に沿った利用がされていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 設置目的に沿った利用ができています。	<input type="checkbox"/> 設置目的に沿った利用ではないものの施設が有効に利用されている。	<input type="checkbox"/> 設置目的に沿った利用がされず、設置目的が曖昧になっている。	<input type="checkbox"/> 設置目的に沿った利用になっていないため、設置目的を変更する必要がある「有効性なし」	<input type="checkbox"/> 施設の性質上議論できない
設問2	現在の状況から判断して、今後も、施設を整備する際の計画内容(設置目的)に沿った利用が見込めますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 設置目的に沿った利用が見込める。	<input type="checkbox"/> 設置目的に沿った利用ではないものの、現在と同程度の利用が見込める。	<input type="checkbox"/> 設置目的に沿った利用が現在のよりは少なくなるが、利用が見込める。	<input type="checkbox"/> 利用が見込めない「有効性なし」	<input type="checkbox"/> 施設の性質上議論できない

(絶対的評価)

		評価基準	
		はい	いいえ
設問3 (70-Q1)	施設の設置目的に沿った利用がされていますか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

④ 満足度調査などにより、利用者の意見を聴取すること(利用者ニーズの把握)に努めていますか？
 【利用者の満足度調査を実施しているか】
 【施設のサービスの改善のために、利用者の意見を聴取しているか】

ア. 満足度調査を実施していますか？
 実施している 実施していない

(「ア」で「実施していない」と回答した場合は必ず記入してください。)

イ. 満足度調査に代わる、利用者の意見を聴取する取組を行っていますか？
 実施している 実施していない

(「ア」または「イ」で「実施している」と回答した場合は必ず記入してください。)

ウ. 満足度調査か、それに代わる取組の内容について「何を、いつ、どのように、その効果」を具体的に記入してください。(開始年月は必ず明記してください。)

年間を通して施設利用者を対象に満足度調査を含むアンケートを実施(平成30年度調査期間:平成30年4月1日～平成31年3月31日、標本数100件)。利用者からの要望や意見などで即対応可能な案件については、スピード感を持って対処している。

(「ア」または「イ」で「実施していない」と回答した場合は必ず記入してください。)

エ. 今後どのような取組を実施する予定であるか、「何を、いつ、どのように」を具体的に記入してください。
 取組を実施する予定がない場合は、その理由を記述してください。

項目④ 満足度調査などにより、利用者の意見を聴取すること(利用者ニーズの把握)に努めていますか？

(相対的評価)		評価基準				
		3	2	1	0	-
設問1	満足度調査を実施していますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 既に実施済である。	<input type="checkbox"/> 今年度実施予定である。	<input type="checkbox"/> 次年度実施予定である。	<input type="checkbox"/> 実施予定はない「有効性なし」	<input type="checkbox"/> 施設の性質上議論できない
設問2	利用者の意見を聴取する(利用者ニーズの把握)取組を実施していますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 満足度調査を実施している。	<input type="checkbox"/> 満足度調査に代わる有効な取組を実施している。	<input type="checkbox"/> 利用者の意見を聴取する制度がある。	<input type="checkbox"/> 取り組む意思がない「有効性なし」	<input type="checkbox"/> 施設の性質上議論できない

(絶対的評価)

		評価基準	
		いる	いない
設問3	満足度調査などにより、利用者の意見を聴取すること(利用者ニーズの把握)に努めていますか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

【点検シート】(担当課実施結果)

2. 有効性

⑤ 施設の設置目的が、社会状況、市民のニーズ、時代の変化に適合していますか？

【施設の設置目的が現在の市民のニーズに適合しているか】

【社会状況の変化(施設を取り巻く状況の変化、国の指針等の変更など)により、施設の設置当時と比べて求められる役割が変わっていないか】

ア. 条例等に定める『施設の設置目的』が、社会状況、市民ニーズ、時代の変化に適合していますか？

✖ 適合している 適合していない

i 施設の設置当時と現在を比較して、社会状況や市民ニーズを『どのように把握』し、その結果『どのように変わってきている(いない)』か、利用者動向等を踏まえて記述してください。また、社会状況や市民ニーズが変わってきている場合は、設置目的と適合させるために『どのような取組』を行っているか、具体的に記述してください。(「何を、いつ、どのように、その効果」について必ず明記してください。)

・条例・規則等の改正 ・事業計画等での位置づけ ・運営指針の見直し等

教育機関に対する出張乗馬や出張講座などを実施するなど次代を担う子供たちの健全な育成に対して高い効果が期待できる野間馬との触れ合いの場を増加させることで施設の設置目的である「野間馬の保存育成及び活用」を図っている。「地域の宝」である野間馬は、昭和60年に日本馬事協会より全国で8番目の日本在来場に認定、昭和63年に市の指定文化財に指定されている。設置当時からこれまで乗馬を希望する子供は多いが、近年、種の保存に重点を置いていることから、乗馬の体重制限を30kgから25kgに変更するなどの対応を余儀なくされている。アンケート調査の結果からも、施設に対する市民のニーズ(野間馬とのふれあい目的で来園)に適合している。

【評価シート】

2. 有効性

項目⑤ 施設の設置目的が、社会状況、市民のニーズ、時代の変化に適合していますか？

(相対的評価)		評価基準				
		3	2	1	0	-
設問1	常にニーズに適合するための取組をしていますか。	取組が効果的であり、利用者動向からもその成果が顕著に現れている	取組により、利用者動向から一定の成果がみられる	取り組んでいるものの、利用者動向に成果が表れていない	取組が十分でない「有効性なし」	施設の性質上議論できない

(絶対的評価)		評価基準	
設問2 (70-Q2)	施設の設置目的が、社会状況、市民のニーズ、時代の変化に適合していますか。	✖ している	していない

⑥ 施設の管理運営が利用目的(利用者ニーズ)に対応し、柔軟で効果的に行われていますか？(硬直化していませんか)

【利用者が利用しやすい(利用者ニーズに対応した)施設であるか】

【利用者動向や満足度を調査・検証し、定期的に管理運営方法の見直し(検証)が行われているか】

ア. 利用目的(利用者ニーズ)の変化に応じて、市民が利用しやすい、効果的な管理運営を行うため、現状の管理運営体制や規則等の柔軟な見直しが行われていますか。また、業務委託等の導入可能性、有効性(効果)が適切に分析(検証)できていますか？(直営の場合、将来的な指定管理者制度導入の可能性ではなく、現状の管理運営の有効性について点検してください。)

✖ 行われている 行われていない

(「行われている」と回答した場合は必ず記入してください。)

i 常に『柔軟に対応するための取組』を、次の内容を踏まえ具体的に記入してください。また、その効果の検証方法も合わせて具体的に記入してください。(「何を、いつ、どのように、その効果」について必ず明記してください。)

・満足度調査 ・利用者動向 ・現状の管理体制、管理方法 ・設置令規、運用規則の見直し

・見直しの時期、頻度

施設の管理については指定管理に委託しており、5年ごとの見直しを行っている。施設利用の満足度調査を実施するなど、利用者の利便性の向上に努め、また施設の修繕などの要望に対しては、優先順位を付けての対応している。不特定多数の方が利用し、多様な観光ニーズに応えるため臨機応変に対応を行い、サービスの提供を行っている。

項目⑥ 施設の管理運営が利用目的(利用者ニーズ)に対応し、柔軟で効果的に行われていますか？(硬直化していませんか)

(相対的評価)		評価基準				
		3	2	1	0	-
設問1	常に硬直化しないための取組をしていますか。	取組が効果的であり、利用者動向からもその成果が顕著に現れている	取組により、利用者動向から一定の成果がみられる	取り組んでいるものの、利用者動向に成果が表れていない	取組が十分でない「有効性なし」	施設の性質上議論できない

(絶対的評価)		評価基準	
設問2 (70-Q4)	施設の管理運営が利用目的(利用者ニーズ)に対応し、柔軟で効果的に行われていますか。(硬直化していませんか)	行われている	✖ 行われていない

【点検シート】(担当課実施結果)

2. 有効性

⑦ 施設の管理運営主体が施設の利用目的から判断して適切ですか？
 【利用目的(利用者ニーズ)に対応した柔軟で効果的な管理運営を行うため、現在の管理運営主体が適切かどうか、民間ノウハウの活用等の可能性も含めて検証しているか】

ア. 施設の管理運営主体が施設の利用目的から判断して適切ですか？
 ✕ 適切である 適切でない

i 「適切である」あるいは「適切でない」と判断した理由について、次の内容を踏まえ、現状の管理運営主体の検証と合わせて具体的に記述してください。
 (直営の場合、単に採算性がないことだけを適切である理由とはせず、市民サービスの向上の観点から、適切な管理運営主体についてどのように検証したか、これまでの検討経緯を記入してください。)

・満足度調査 ・利用者動向 ・現状の管理体制 ・他自治体の状況 ・人員配置
 ・業務の専門性・特殊性 ・地理的条件

現在の指定管理者団体である野間馬保存会は、昭和53年に野間馬の保存育成と利活用に寄与するために設立された団体で、設立以後、野間馬の個体識別や血統調査、血統管理システムの構築や野間馬保存活用検討提言書の作成などの野間馬の飼育及び増殖に関する業務の実施について中核的な役割を担ってきており、野間馬の飼養に必要な技術的知識や各種データを保有する唯一の団体であると認められるものである。野間馬の育成は高い専門性・特殊性を要するため、民間運営は適切でない。現在の管理運営主体は満足度調査などでも高い評価を得ており、現状最善であると考えられる。また、「野間馬の飼育」だけでなく、「公園の管理」の点からも、植栽管理及び清掃管理に園長以下職員全員で積極的に取り組んでいることから、施設の管理運営体制は整っている。

【評価シート】

2. 有効性

項目⑦ 施設の管理運営主体が施設の利用目的から判断して適切ですか？

		評価基準				
		3	2	1	0	-
設問1	(相対的評価) 管理運営主体について、問題点を具体的に列挙し、適切に検証されていますか。	問題点が具体的に列挙され、適切に検証されている	問題点が具体的に列挙されているが、検証が不十分である	問題点は提示できているが、検証ができていない	問題点が提示できてなく、検証もできていない「有効性なし」	施設の性質上議論できない
	(絶対的評価) 施設の管理運営主体が施設の利用目的から判断して適切ですか。	適切である	適切でない			

⑧ 施設の利用が特定の個人、団体に極端(1~2団体が利用の5割以上)に偏っていませんか？

ア. 施設の利用が特定の個人、団体に極端(1~2団体が利用の5割以上)に偏っていませんか？
 (ただし、法令により利用者が限られる場合や、入所施設など一定の基準により入所者が適切に選定されている場合は偏っているとはみなしません)
 ✕ 偏っていない 偏っている

(「偏っている」と回答した場合は必ず記入してください。)

i 団体(個人)名及びその活動内容を記入してください。

団体(個人)名	
活動内容	

ii 一番利用率の高い団体(個人)は、どれ位の割合を占めていますか。
 %

項目⑧ 施設の利用が特定の個人、団体に極端(1~2団体が利用の5割以上)に偏っていませんか？

		評価基準	
		いない	いる
設問1 (70-Q3)	施設の利用が特定の個人、団体に極端(1~2団体が利用の5割以上)に偏っていませんか。	✕ いない	いる

		評価基準				
		3	2	1	0	-
設問2	特定の利用者に対し、適切な負担を求めていますか。	負担を求める額が適切に算定されている	算定されている	算定されているが求める負担が十分でない	負担を求めている「有効性なし」	施設の性質上議論できない
設問3	施設を利用している特定団体が、地域に特別な貢献をしていますか。	活動内容が公の施設を利用するに相応しく、かつ、地域振興への貢献が顕著である	活動内容が公の施設を利用するに相応しく、かつ、地域振興へ貢献している	活動内容が公の施設を利用するに相応しいものの、地域振興への貢献度は今後の取組み次第である	活動内容が公の施設を利用するに相応しくない「有効性なし」	施設の性質上議論できない

【点検シート】(担当課実施結果)

2. 有効性

⑨ 施設自体が利用者の利便性が高く、使いやすい施設ですか？
 【利用者が求める利便性や使いやすさを把握し、それに適応できているか】
 【利用者の要望や苦情に対する改善はしているか。また、施設の状況や利用者の声を、施設現場・支所・本庁間で情報共有できているか】

ア. 利用者の求める利便性や使いやすさに適応できていますか？
 ✕ 適応できている 適応できていない

(「適応できている」と回答した場合は必ず記入してください。)
 利用者の求める利便性や使いやすさに適応するために取り組んでいる内容を具体的に記入してください。
 「何を、いつ、どのように、その効果」について必ず明記してください。
 (「適応できていない」と回答した場合)
 一部でも取り組んでいる内容・効果、またはできていない理由を具体的に記入してください。

i 利用者の要望・意見を収集する方法、実績、効果
 施設内にアンケートボックスを常時設置しており、アンケートを実施している。また、従業員が常駐している施設であり、常日頃から施設管理職員が利用者に対し、声がけするなどして意見を収集していることから意見、要望を聞き入れる体制は整っている。即対応できる意見等については、スピード感を持って対処するようにしている。利用者からも高い満足を得ている。

ii トラブル防止や、苦情に対する改善策などの取組、効果
 苦情については、原因の把握に努め、利用者不信感を抱かせないよう親切丁寧に対処している。施設、設備について老朽化が進んでいるが、日ごろから点検に努めており、利用者迷惑を掛ける事がないよう計画的な修繕を心掛けている。接客サービス向上を徹底し、利用者に対して平等且つ公平な対応に努めている。クレーム等での全体研修を実施することで従業員意識が高まっている。大きなトラブルがあった場合は、観光課、関連業者に連絡し、迅速な対応ができています。同様の苦情は減っている。アンケート調査結果からも、施設に対する不満の意見はほぼなかった。

iii 現場、支所、本庁間で、施設の状況や利用者の声、トラブルの情報を共有する体制や方法、効果
 指定管理者・本庁との間で定期的な協議を行っており、指定管理者だけでなく、市に寄せられた意見・苦情等の内容・対応方法を共有できている。そのため、迅速な報告、連絡、相談体制が整っている。FAX、電話、月報などで現場と担当課で情報を共有し合い、利用者の利便性が向上している。このことから、アンケート調査結果では、施設に対する不満の意見はほぼなかった。

iv 利用者や利用団体等に対して行っている情報発信の内容及び方法、効果
 営業時間や乗馬体験料金などをHPで公開している。また、野間馬だよりを毎月発行しており、今年度からは岡山理科大学今治キャンパスの図書館にも掲載している。FacebookやInstagramなどのSNSでも配信し、少しずつであるが注目を集めてきている。しかしながら、天候などに左右され、乗馬利用者数及び出張乗馬回数など、目標値の達成には至らなかった。

【評価シート】

2. 有効性

項目⑨ 施設自体が利用者の利便性が高く、使いやすい施設ですか？

(相対的評価)		評価基準				
		3	2	1	0	-
設問1	利用者や利用団体等の意見を聞く機会を持っていますか。	取組により、効果が上がっている	取組により、一定の水準を満たしている	✕ 取り組んでいるが、思った効果が得られていない	取り組んでいない「有効性なし」	施設の性質上議論できない
設問2	トラブル防止策や苦情に対する改善策が取られていますか。	取組により、効果が上がっている	✕ 取組により、一定の水準を満たしている	取り組んでいるが、思った効果が得られていない	取り組んでいない「有効性なし」	施設の性質上議論できない
設問3	現場、支所、本庁間で情報の共有ができていますか。	取組により、効果が上がっている	✕ 取組により、一定の水準を満たしている	取り組んでいるが、思った効果が得られていない	取り組んでいない「有効性なし」	施設の性質上議論できない
設問4	利用者や利用団体等に適切な情報の発信ができていますか。	取組により、効果が上がっている	✕ 取組により、一定の水準を満たしている	取り組んでいるが、思った効果が得られていない	取り組んでいない「有効性なし」	施設の性質上議論できない

(絶対的評価)		評価基準	
設問5 (70-05-1、5-2)	施設自体が利用者の利便性が高く、使いやすい施設ですか。	はい	✕ いいえ

【点検シート】(担当課実施結果)

3. 効率性

① 利用実績や資源投入量を検証し、PDCAサイクルに基づく効率的な管理運営ができていますか？
 【利用実績や資源投入量について検証し、計画や方針等において改善策や評価指標、目標値を定め、かつ、客観的データを経年推移で確認し、管理運営の改善に取り組んでいるか】
 【改善すべき内容、達成すべき目標を定めた計画(Plan)に基づき、管理運営(Do)の実績をデータで確認・検証(Check)し、改善(Act)に取り組んでいるか。PDCAサイクルに基づいた管理運営ができていますか】

ア. 利用実績、資源投入量等のデータ、達成すべき目標及びその方策、プロセスを明記した「管理運営等改善計画(方針、公共施設等総合管理計画の個別施設計画も含む)」がありますか？

ある ない

(「ある」と回答した場合は必ず記入してください。)

i どのような内容の計画(方針等)ですか？ 該当するものをすべて チェック してください。

管理運営コストの見直し 業務委託内容・範囲の見直し
 人員配置の見直し 開館日・時間の見直し

イ. 「ア」で回答した計画・方針等に基づき、客観的データを経年推移で確認し、施設運営の改善に取り組んでいますか？

取り組んでいる 取り組んでいない

(次の項目ごとに、「取り組んでいる内容」または「取り組んでいない理由」を記入してください)
 (「ア」の i でチェックした項目については、必ず取組内容等を記入してください)

客観的データを経年推移で確認した上で、「何を課題と捉え、どのような改善策(目標)を計画等に掲げ、どのように取り組み、その結果(効果)はどうであったか」について具体的に記入してください。

指定管理施設においても、仕様書や業務基準、指定管理料の積算見直しのほか、市と指定管理者との協議により取り組んだ内容を記入してください。

取り組んでいない場合も空欄とせず、「計画に定めていない、取り組んでいない」理由を記入してください。

i 「管理運営コスト」に関する計画内容、取組実績、効果

モニタリング実施や指定管理者更新時の厳格なチェックにより適切な管理運営を実施している。H30年7月豪雨災害時には園内で一部土砂流入の被害があったが、外注するのではなく、自前の重機を使用し土砂撤去を実施した。また、安定して安価で安全な飼料を確保するなど、コスト削減に努めた。

ii 「業務委託内容・委託範囲」に関する計画内容、取組実績、効果

指定管理における事業計画書および事業報告書の提出やモニタリングを通じて、管理運営に努めている。また、野間馬の保存管理に関して、学識経験者を顧問に迎え、種の保存に取り組んでいるが、現時点で個体数の増加にはつながっていない。

iii 「人員配置」に関する計画内容、取組実績、効果

指定管理における事業計画書および事業報告書の提出やモニタリングを通じて、適正な人員配置が行われている。指定管理者更新時には必要とする各々の最低人員を見直しているが、業務の特殊性もあり、大きな変動はない。

iv 「開館日・時間」に関する計画内容、取組実績、効果

休館日・利用時間の変更については、条例、規則で許される範囲で弾力的に運用し、利用者の利便性を確保している。

【評価シート】

3. 効率性

項目① 利用実績や資源投入量を検証し、PDCAサイクルに基づく効率的な管理運営ができていますか？

(相対的評価)	評価基準(評価点)					評価点
	3	2	1	0	-	
設問1 施設の利用実績のデータを収集し、活用していますか。	取組により、効果が上がっている	取組により、一定の水準を満たしている	取り組んでいるが、思った効果が得られていない	取り組んでいない「効率性なし」	対象外	1
設問2 施設の管理運営コストについて見直していますか。	取組により、効果が上がっている	取組により、一定の水準を満たしている	取り組んでいるが、思った効果が得られていない	取り組んでいない「効率性なし」	対象外	1
設問3 業務委託内容、委託範囲について見直していますか。	取組により、効果が上がっている	取組により、一定の水準を満たしている	取り組んでいるが、思った効果が得られていない	取り組んでいない「効率性なし」	対象外	2
設問4 人員配置について見直していますか。	取組により、効果が上がっている	取組により、一定の水準を満たしている	取り組んでいるが、思った効果が得られていない	取り組んでいない「効率性なし」	対象外	2
設問5 施設の開館日や開館時間について見直していますか。	取組により、効果が上がっている	取組により、一定の水準を満たしている	取り組んでいるが、思った効果が得られていない	取り組んでいない「効率性なし」	対象外	1

(絶対的評価)

設問6	評価基準	
	できている	できていない
計画・方針等に基づき、客観的データを経年推移で確認し、効率的な管理運営ができていますか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

【点検シート】(担当課実施結果)

3. 効率性

② 施設の改修等を実施していますか？
 【耐用年数、老朽化の状況等を踏まえた長期的な視野に立った改修・改善、管理運営のための計画を策定しているか】
 【計画に基づき、ランニングコストの低減、利用者の利便性向上、施設の長寿命化等を図るための改修・改善を実施しているか】

ア. 長期的な管理運営計画がありますか？
 (策定済の場合、または策定中で策定年度が確定済みの場合のみ「ある」とし、策定(予定)年度を記入してください。)

ある	H29	年度策定(予定)	ない
----	-----	----------	----

イ. 長期的な改修計画がありますか？
 (策定済の場合、または策定中で策定年度が確定済みの場合のみ「ある」とし、策定(予定)年度を記入してください。)

ある	年度策定(予定)	ない
----	----------	----

ウ. 計画に基づき、ランニングコストの低減、利用者の利便性向上、施設の長寿命化等を目的とした改修・改善を実施していますか？

実施している	実施していない
--------	---------

(「実施している」と回答した場合は必ず記入してください。)

i 具体的に「どのような」改修・改善をしましたか？
 (「何を目的として、何をどのように改修・改善し、その効果はどうであったか」具体的に記入してください。)
 (計画を策定済みであり、それに基づき当該年度は具体的な改修・改善を行っていない場合でも「実施している」を選択できますが、「改善を行っていない理由」や「今後どのような改善を行う予定か」決まっている範囲で記入してください。)

【評価シート】

3. 効率性

項目② 施設の改修等を実施していますか？

(絶対的評価)

		評価基準	
設問1	長期的な管理運営計画ありますか。	ある	ない
設問2	長期的な改修計画がありますか。	ある	ない

(相対的評価)

		評価基準(評価点)					評価点
		3	2	1	0	-	
設問3	ランニングコストの節減を考慮し、施設の改修等を実施していますか。	取組により、効果が上がっている	取組により、一定の水準を満たしている	取り組んでいる(策定中含む)が、思った効果が得られていない	計画策定も含めて何も取り組んでいない「効率性なし」	対象外	0
設問4	利用者の利便性を考えた施設の改修等を実施していますか。	取組により、効果が上がっている	取組により、一定の水準を満たしている	取り組んでいる(策定中含む)が、思った効果が得られていない	計画策定も含めて何も取り組んでいない「効率性なし」	対象外	0
設問5	施設の長寿命化のための改修を実施していますか。	取組により、効果が上がっている	取組により、一定の水準を満たしている	取り組んでいる(策定中含む)が、思った効果が得られていない	計画策定も含めて何も取り組んでいない「効率性なし」	対象外	-

(絶対的評価)

		評価基準	
設問6	施設等の改修等を実施していますか。	している	していない

③ 施設に係る借地料、地元協力金などの特殊な経費が掛かっていませんか？

ア. 特殊な経費が掛かっていませんか？

掛かっていない	掛かっている
---------	--------

(「掛かっている」と回答した場合は必ず記入してください。)

i 具体的な特殊経費名を記入してください。

用地賃借料

ii 特殊経費の算定根拠を具体的に記述してください。
 (特殊経費の必要性 市場価格との整合性及び その検証方法を明記した上で記入してください。)
 (根拠) 野間馬ハイランド用地の賃貸借に関する契約(昭和62年12月9日締結)並びに野間馬ハイランド用地の賃貸借に関する契約の一部を変更する契約(平成15年4月1日締結)に基づく用地賃借料。けがや野間馬の性格等の問題から、他の馬と合同で飼育できない馬用の放牧場として必要であるため。実測面積13,834.33㎡=1,282,217円(年額)

項目③ 施設に係る借地料、地元協力金などの特殊な経費が掛かっていませんか？

(絶対的評価)

		評価基準	
設問1	特殊な経費が掛かっていませんか。	いない	いる

(相対的評価)

		評価基準(評価点)				評価点
		3	2	1	0	
設問2	特殊経費が必要ですか。	掛かっていない	効果があるため、特殊な経費が掛かっているが、適切な負担である	効果があるため、特殊な経費が掛かっているが、市場価格と比較して割高な負担である	特殊経費の負担について見直す必要がある「効率性なし」	2

【点検シート】(担当課実施結果)

3. 効率性

④ コストバランスを考慮した上で、利用率を上げるためのサービスの向上に努めていますか？

【管理運営コストや利用者数等の各年度実績を踏まえ、利用率を上げるために施設運営の改善に努めているか】

【市民が「利用したい」と思うようなニーズを把握し、それに答えられる施設運営の改善に努めているか】

ア. 施設の設置目的に沿った、利用率を上げるためのサービスの向上に努めていますか？

✖ 努めている 努めていない

(「努めている」と回答した場合は全項目に記入してください)

(「努めていない」と回答した場合、下記のうち一部でも取り組みがある場合は記入してください。)

下記の項目について「何を目的として、どのように取り組み、その効果はどうであったか」具体的に記入してください。満足度調査など利用者ニーズの把握方法と、取組後の反応も合わせて記入してください。

(評価シートで取り組むことができない(対象外)を選択する場合は、その理由を記入してください。)

i 「接客方法の改善」について取り組んだ内容・実績・効果

野間馬の文化財としての保護思想の普及や野間馬の魅力のPRを図り、子供たちを中心とした野間馬のファンを増やし、新たな利用者の創出を行っている。定期的に職員全員が、利用者ニーズを共有するために要望の内容や対応策等を話し合う場として、スタッフミーティングを行っている。また、名前の刺繍が入ったユニフォームを着用することで、顔の見える接客サービスを提供している。

ii 「満足度調査等の意見を反映したサービスの提供」について取り組んだ目的・内容・実績・効果

市内教育機関や地元地域の行事への積極的な参加などを通じて、野間馬の魅力を発信すると共にイベント遂行能力の向上と利用者ニーズをフィードバックすることで魅力的な自主企画を提供できる体制を作っている。満足度調査での要望ではないが、これまで掲示していなかった市民団体のポスターを掲示することによって、市民の要望に応えることができた。また、車椅子がこれまで用意できていなかったが、電動車いすをナブテスコマリン四国から寄付いただき配置することができ、高齢者や障がい者の方等への配慮につながっている。

iii 「新しいサービスの提供」について取り組んだ目的・内容・実績・効果

H30年度に開学した岡山理科大学図書館に野間馬コーナーを設置することによって、施設のPRに努めた。ちびっ子野間馬まつりでは新規採用市職員がダンスと歌を披露し、利用客に大変好評であった。四国電力が四国霊場の遍路沿いの電柱に取り付けた発信機を通じて、周辺情報を提供するアプリ「遍路のあかり」の運用サービスを開始したのに合わせて、情報を提供した。時代の変化に適切した取り組みを実施することで、利用者の利便性向上につなげている。

iv 「料金体系の改善」について取り組んだ目的・内容・実績・効果

利用者アンケート等を参考に料金体系が適正かどうか検証(事業報告・モニタリング実施の際に協議)等しており、乗馬料は適当であると考えている。一部で無料にとの声もあるが、乗馬体験にかかる人件費、野間馬の体力等考慮した上で、一定の乗馬料の徴収は致し方ないと捉えている。

v 「リピーターの増加策」について取り組んだ内容・実績・効果

自主事業として、「野間馬新聞の発行」「(乗馬料が無料となる)野間馬の日」などを実施している。地元小学校と連携を図り、大人になってもファンでいてくれる環境づくりをしている。また、ちびっこのまうままつりを開催し、乗馬体験(H30は雨天のため中止)、クイズ大会や太鼓演奏など様々なパフォーマンスが繰り広げられ、施設の魅力を広く紹介し、来場者からも好評を得ている。これらの取り組みにより、利用者の増加に努めているが、天候なども関係してくるため、来場者数は前年度より減少した。

vi 「安全確保の改善」について取り組んだ内容・実績・効果

来園者からハイランド出入り口のところにカーブミラーがないので危ないとの意見を受けて、設置し、利用者の安全を確保できた。また、遊具付近の木が伸びすぎているという指摘があったので、管理者が伐採し安全を確保した。来園者の主体が子供連れの家族であることを考慮して、屋外施設的环境を整備するとともに子供が立ち入る箇所については除草剤散布を行わず、害虫駆除のために薬剤散布を行う場合は、箇所や薬量を極力抑えることにより、健康で安全な施設の維持管理に努めている。職員による日常の巡回点検で、危険箇所を早期に発見、補修を行い、常に安全で快適な利用ができるように努めている。危険箇所が発見された場合は、直ちに来園者に告知し、利用制限を行っている。安全確保後に、施設の改修や補修を適宜判断している。これらの迅速な取り組みにより、利用者の安全が確保された。

vii 「開館時間等の改善」について取り組んだ目的・内容・実績・効果

休園日である火曜日が、小学校の長期休暇や祝祭日にあたった場合は、乗馬等を実施することで、利用の機会の提供を行い、利便性の向上に努めた。

【評価シート】

3. 効率性

項目④ コストバランスを考慮した上で、利用率を上げるためのサービスの向上に努めていますか？

(相対的評価)	評価基準(評価点)					評価点
	3	2	1	0	-	
設問1 適切な接客ができていますか。	取組により、満足度が高い	取組により、満足度は一定の水準である	取組んでいるが、満足度が思うように上がっていない	取組が不十分である、又は、満足度等効果の評価ができない「効率性なし」	対象外	1
設問2 満足度調査など利用者の意見を反映したサービスに努めていますか。	取組により、満足度が高い	取組により、満足度は一定の水準である	取組んでいるが、満足度が思うように上がっていない	取組が不十分である、又は、満足度等効果の評価ができない「効率性なし」	対象外	2
設問3 新しいサービスを、絶えず模索していますか。	取組により、満足度が高い	取組により、満足度は一定の水準である	取組んでいるが、満足度が思うように上がっていない	取組が不十分である、又は、満足度等効果の評価ができない「効率性なし」	対象外	2
設問4 適正価格の利用料金体系を模索していますか。	取組により、満足度が高い	取組により、満足度は一定の水準である	取組んでいるが、満足度が思うように上がっていない	取組が不十分である、又は、満足度等効果の評価ができない「効率性なし」	対象外	1
設問5 リピーターの増加策に取り組んでいますか。	取組により、満足度が高い	取組により、満足度は一定の水準である	取組んでいるが、満足度が思うように上がっていない	取組が不十分である、又は、満足度等効果の評価ができない「効率性なし」	対象外	2
設問6 利用者の安全確保に努めていますか。	取組により、満足度が高い	取組により、満足度は一定の水準である	取組んでいるが、満足度が思うように上がっていない	取組が不十分である、又は、満足度等効果の評価ができない「効率性なし」	対象外	2
設問7 開館日や開館時間の変更が柔軟に対応できていますか。	取組により、満足度が高い	取組により、満足度は一定の水準である	取組んでいるが、満足度が思うように上がっていない	取組が不十分である、又は、満足度等効果の評価ができない「効率性なし」	対象外	-

(絶対的評価)	評価基準	
設問8 施設の設置目的に沿った、利用率を上げるためのサービスの向上に努めていますか。	いる	いない

【点検シート】(担当課実施結果)

4. PR性

① 施設のPRが今治市のイメージアップに貢献し、効果をもたらしていますか？
 【紙媒体やテレビ、ラジオなどのマスメディア、インターネット媒体などによって取り上げられた情報を把握できているか】
 【広くマスメディア等で取り上げられた情報が今治市の特徴的な施設としての認知度向上やイメージアップにつながり、結果として集客等のプラス効果をもたらしているか】

ア. テレビや雑誌、新聞などのマスメディア等に取り上げられていますか？
 〳 はい 〵 いいえ

(「はい」と回答した場合は必ず記入してください。)

i 当該年度を基準に、「どのような媒体に、いつ、どのように取り上げられたか」について、具体的に記述してください。

平成31年(2019年)1月 愛媛新聞 河津桜開花写真を掲載いただいた。
 平成31年(2019年)2月 愛媛新聞 電動車椅子寄贈 平成31年(2019年)2月 旅の手帖 愛媛県公式観光・レジャーガイドブックえひめ2018、2019

(「はい」と回答した場合は必ず記入してください。)

ii 取り上げられた内容等が持つPR力(影響を与える範囲)について、具体的に記入してください。

- ・テレビ(番組名(全国・ローカルの別を含む)、取り上げられた内容、放映された時間など)
- ・雑誌、新聞(名称(全国・ローカルの別を含む)、取り上げられた内容、記事量、発行部数、読者層など)

愛媛新聞は約22万部発行されており、約55万人の総読数があるものと推定され、また、旅の手帖に関しては全国で販売されており、発行部数約12万部を誇る。新聞等で取り上げられることで愛媛県内はもちろん、全国の幅広い世代から注目を浴び、観光客の誘客につながるものと考えられる。

(「はい」と回答した場合は必ず記入してください。)

iii 取り上げられた内容等がもたらす効果について、次の内容を踏まえ、具体的に記入してください。
 (利用者数、収入金額、問い合わせ件数、満足度調査などの指標を挙げた上で、得られた効果を具体的に記述してください。)

入園者数は約10万人・乗馬利用者数は約12,000人、前年度を下回り、同時に収入(乗馬料等)も減少した。平成30年7月豪雨災害や天候等の影響と考えられる。ただし、利用者アンケート結果から、利用者の満足度は高い水準を維持できている。

【評価シート】

4. PR性

項目①		施設のPRが今治市のイメージアップに貢献し、効果をもたらしていますか？					評価点
(相対的評価)		評価基準					
		3	2	1	0	-	
設問1	テレビや雑誌、新聞などのマスメディア等に取り上げられていますか。	頻繁、かつさまざまなマスメディア等に取り上げられている	継続的、あるいは一定程度、マスメディア等に取り上げられている	若干回数、マスメディア等に取り上げられている	マスメディア等に取り上げられることはほとんどない、又は把握できていない	施設の性質上議論できない	2
設問2	PR力(影響を与える範囲)について検証できていますか。	影響力の大きなマスメディア等で紹介され、PR力は非常に大きい	マスメディア等の影響の及ぶ範囲は限られているが、一定程度のPR力がある	若干のPR力がある	PR力はほとんどない、又は把握できていない	施設の性質上議論できない	2
設問3	PRの結果、集客等の具体的な効果をもたらしていますか。	非常に大きな効果をもたらしている	一定程度の効果をもたらしている	若干の効果をもたらしている	効果はほとんどない、又は把握できていない	施設の性質上議論できない	1

施設のあり方見直しのための「評価」

観点別 評価結果

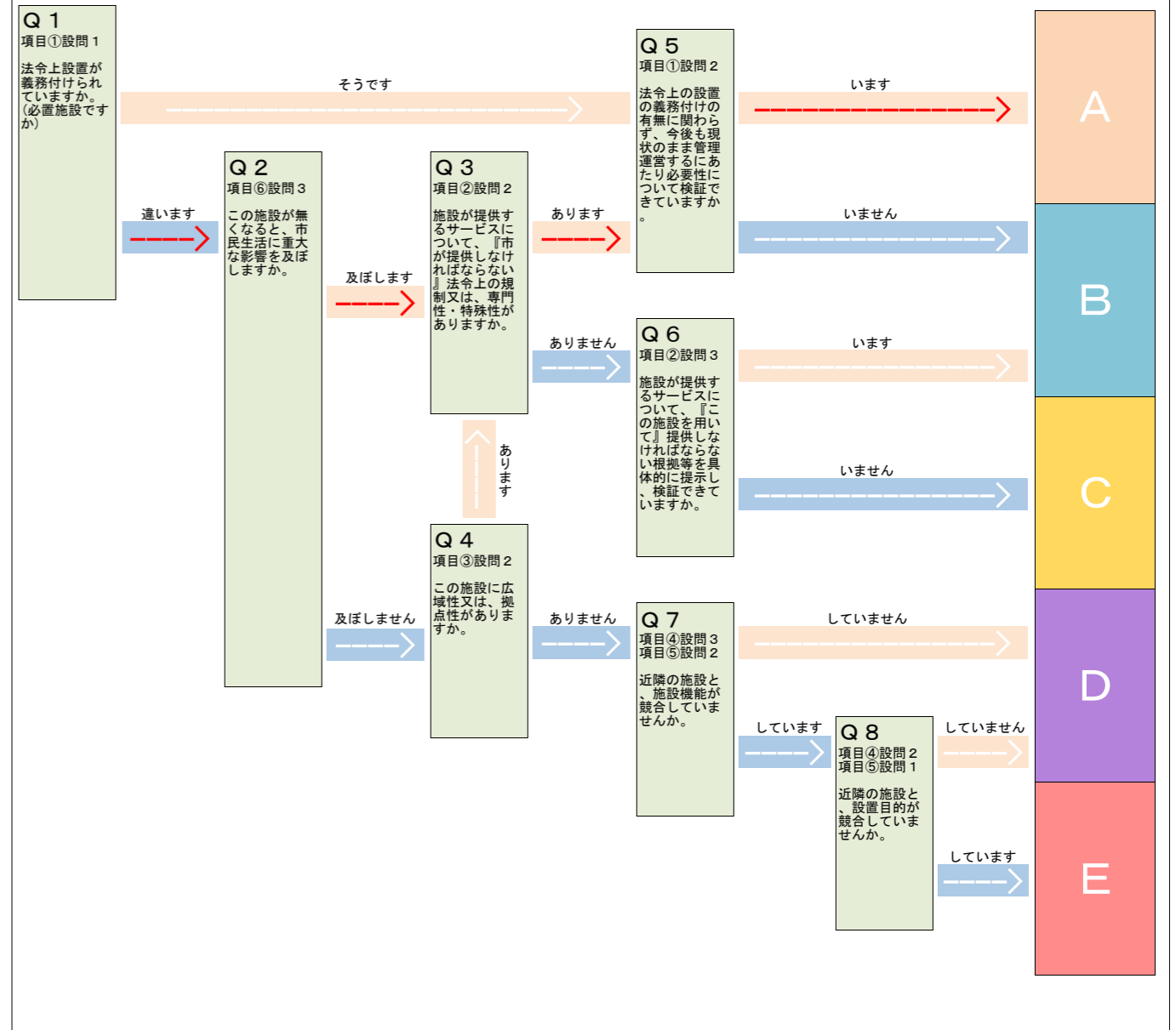
代替性

フロー図 Q	観点別評価 対象項目		回答		(評価フロー図対応)
			YES	NO	
Q 1	項目①	設問 1 法令上設置が義務付けられていますか。 (必置施設ですか)	はい	いいえ	
Q 2	項目⑥	設問 3 この施設が無くなると、市民生活に重大な影響を及ぼしますか。	及ぼす	及ぼさない	
Q 3	項目②	設問 2 施設が提供するサービスについて、『市が提供しなければならない』法令上の規制又は、専門性・特殊性がありますか。	ある	ない	
Q 4	項目③	設問 2 この施設に広域性又は、拠点性がありますか。	ある	ない	
Q 5	項目①	設問 2 法令上の設置の義務付けの有無に関わらず、今後も現状のまま管理運営するにあたり必要性について検証できていますか。	現状を理解して具体的に検証できている	一定の評価ができる検証ができている	抽象的ではあるが検証できている
Q 6	項目②	設問 3 施設が提供するサービスについて、『この施設を用いて』提供しなければならない根拠等を具体的に提示し、検証できていますか。	根拠等が具体的に提示され、適切に検証されている	根拠等が具体的に提示されているが、検証が不十分である	根拠等が提示できてなく、検証もできていない「代替性あり」
Q 7	項目④	設問 3 近隣の市有施設と、施設機能が競合していませんか。	いない	いる	
	項目⑤	設問 2 近隣の民間等の施設と、施設機能が競合していませんか。	いない	いる	
Q 8	項目④	設問 2 近隣の市有施設と、設置目的が競合していませんか。	いない	いる	
	項目⑤	設問 1 近隣の民間等の施設と、設置目的が競合していませんか。	いない	いる	

◆観点別評価方法（「実績」⇒「点検」⇒「評価」）

フロー図 Q	【実績シート】	点検確認	【点検シート】	点検確認	【評価シート】
Q1	【法定施設・公の施設】	⇒	【項目①】	⇒	【項目①】【設問1】
Q2	【非常時等の利用】 【設置の経緯・目的】 【施設の概要(競合施設リスト含む)【競合施設リスト】】 【施設の利用状況】 【施設利用者の把握】	⇒	【項目⑥】	⇒	【項目⑥】【設問3】
Q3	【非常時等の利用】 【設置の経緯・目的】	⇒	【項目②】	⇒	【項目②】【設問2】
Q4	【設置の経緯・目的】 【施設の概要(競合施設リスト含む)【競合施設リスト】】	⇒	【項目③】	⇒	【項目③】【設問2】
Q5	【法定施設・公の施設】	⇒	【項目①】	⇒	【項目①】【設問2】
Q6	【非常時等の利用】 【設置の経緯・目的】	⇒	【項目②】	⇒	【項目②】【設問3】
Q7	【設置の経緯・目的】 【施設の概要(競合施設リスト含む)【競合施設リスト】】	⇒	【項目④】	⇒	【項目④】【設問3】
		⇒	【項目⑤】	⇒	【項目⑤】【設問2】
Q8	【施設の概要(競合施設リスト含む)【競合施設リスト】】	⇒	【項目④】	⇒	【項目④】【設問2】
		⇒	【項目⑤】	⇒	【項目⑤】【設問1】

<フロー図>



代替性（観点別評価） A

施設のあり方見直しのための「評価」

観点別 評価結果

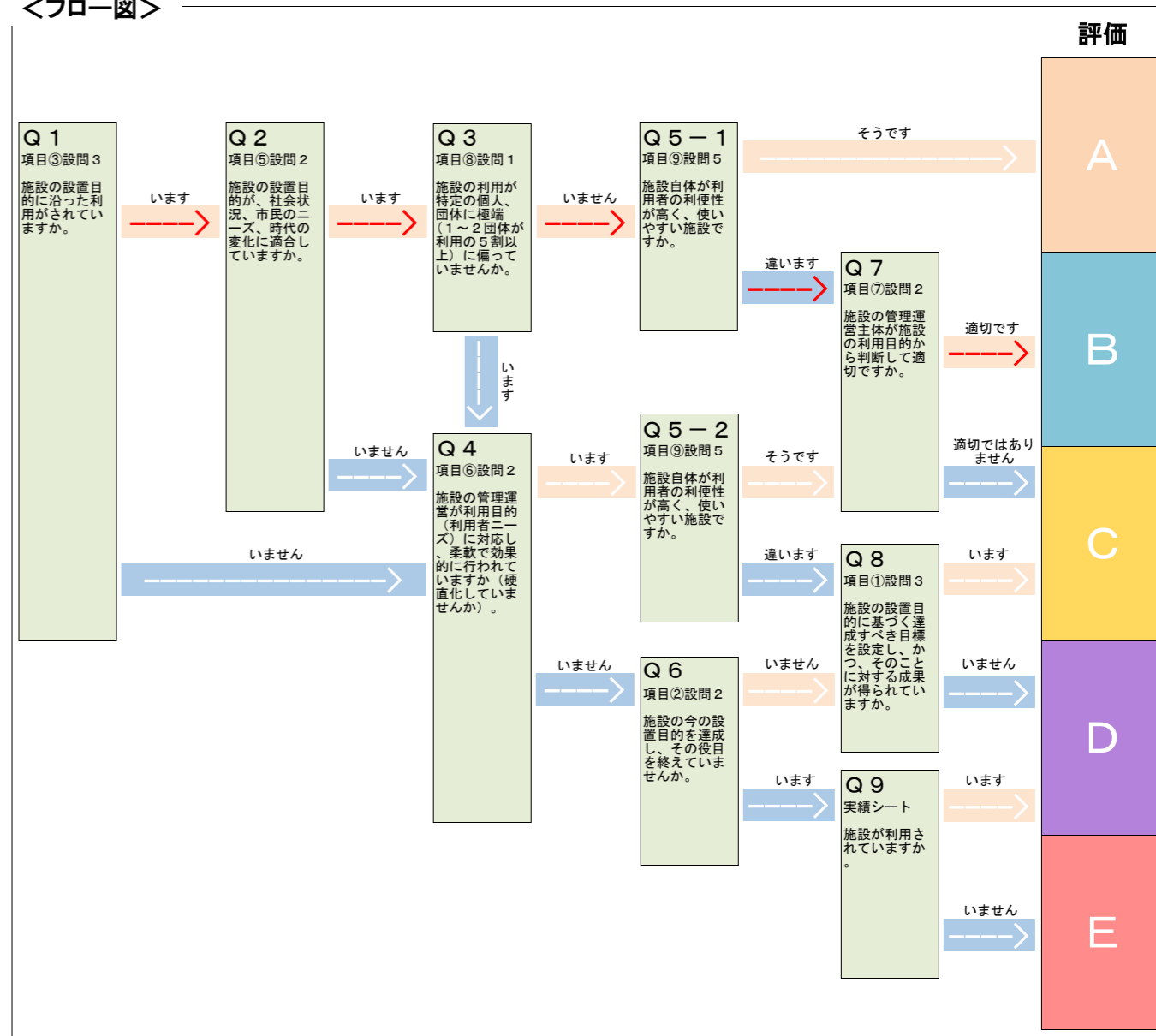
有効性

フロー図 Q	観点別評価 対象項目		回答 (評価フロー図対応)	
			YES	NO
Q 1	項目③	設問 3	施設の設置目的に沿った利用がされていますか。	はい いいえ
Q 2	項目⑤	設問 2	施設の設置目的が、社会状況、市民のニーズ、時代の変化に適合していますか。	している していない
Q 3	項目⑧	設問 1	施設の利用が特定の個人、団体に極端（1～2団体が利用の5割以上）に偏っていませんか。	いない いる
Q 4	項目⑥	設問 2	施設の管理運営が利用目的（利用者ニーズ）に対応し、柔軟で効果的に行われていますか（硬直化していませんか）。	行われている 行われていない
Q5-1 Q5-2	項目⑨	設問 5	施設自体が利用者の利便性が高く、使いやすい施設ですか。	はい いいえ
Q 6	項目②	設問 2	施設の今の設置目的を達成し、その役目を終えていますか。	終えていない 終えている
Q 7	項目⑦	設問 2	施設の管理運営主体が施設の利用目的から判断して適切ですか。	適切である 適切でない
Q 8	項目①	設問 3	施設の設置目的に基づく達成すべき目標を設定し、かつ、そのことに対する成果が得られていますか。	得られている 得られていない
Q 9	「実績シート」		施設が利用されていますか。	されている されていない

◆観点別評価方法（「実績」⇒「点検」⇒「評価」）

フロー図 Q	【実績シート】	点検 確認	【点検シート】	点検 確認	【評価シート】
Q1	【設置の経緯・目的】 【施設の利用状況】〔うち目的内利用分〕、〔うち目的外利用分〕	⇒	【項目③】	⇒	【項目③】〔設問3〕
Q2	【施設改修】 【施設の利用状況】〔うち目的内利用分〕、〔うち目的外利用分〕 【満足度調査及び情報提供状況】	⇒	【項目⑤】	⇒	【項目⑤】〔設問2〕
Q3	【使用料金体系】 【施設の利用状況】	⇒	【項目⑧】	⇒	【項目⑧】〔設問1〕
Q4	【管理運営方法】 【使用料金体系】 【施設の利用状況の推移（年度実績）】 『資源投入量』『配置人員』『歳入』『歳出』『行政コスト』『単位当たりコスト』 【満足度調査及び情報提供状況】	⇒	【項目⑥】	⇒	【項目⑥】〔設問2〕
Q5	【満足度調査及び情報提供状況】	⇒	【項目⑨】	⇒	【項目⑨】〔設問5〕
Q6	【施設の利用状況】〔利用回数（件数）〕、〔延べ利用人数〕、〔実利用人数〕 【施設利用者の把握】 【施設の利用状況の推移（年度実績）】 『資源投入量』『配置人員』『歳入』『歳出』『行政コスト』『単位当たりコスト』 【満足度調査及び情報提供状況】	⇒	【項目②】	⇒	【項目②】〔設問2〕
Q7	【施設の利用状況】 【施設利用者の把握】 【施設の利用状況の推移（年度実績）】 『資源投入量』『配置人員』『歳入』『歳出』『行政コスト』『単位当たりコスト』 【満足度調査及び情報提供状況】	⇒	【項目⑦】	⇒	【項目⑦】〔設問2〕
Q8	【施設の利用状況の推移（年度実績）】 【評価指標の設定】	⇒	【項目①】	⇒	【項目①】〔設問2〕
Q9	【施設の利用状況】 【施設利用者の把握】 【施設の利用状況の推移（年度実績）】	⇒	-	⇒	-

<フロー図>



有効性（観点別評価） B

施設のあり方見直しのための「評価」

観点別 評価結果

効率性

質問	観点別評価 対象項目		評価点	得点率	評価
1	項目① 設問2	施設の管理運営コストについて見直していますか。	1	45.2 %	D
2	項目① 設問4	人員配置について見直していますか。	2		
3	項目① 設問3	業務委託内容、委託範囲について見直していますか。	2		
4	項目④ 設問4	適正価格の利用料金体系を模索していますか。	1		
5	項目② 設問4	利用者の利便性を考えた施設の改修等を実施していますか。	0		
6	項目② 設問3	ランニングコストの節減を考慮し、施設の改修等を実施していますか。	0		
7	項目③ 設問2	特殊経費が必要ですか。	2		
8	項目① 設問1	施設の利用実績のデータを収集し、活用していますか。	1		
9	項目④ 設問2	満足度調査など利用者の意見を反映したサービスに努めていますか。	2		
10	項目④ 設問6	利用者の安全確保に努めていますか。	2		
11	項目① 設問5	施設の開館日や開館時間について見直していますか。	1		
12	項目④ 設問1	適切な接客ができていますか。	1		
13	項目④ 設問5	リピーターの増加策に取り組んでいますか。	2		
14	項目④ 設問3	新しいサービスを、絶えず模索していますか。	2		
計			19		
対象外質問数			0		

●得点率：評価点計/(3点×(14問-対象外質問数))

◆観点別評価方法（「実績」⇒「点検」⇒「評価」）

質問	【実績シート】	点検確認	【点検シート】	点検確認	【評価シート】
1	【施設の利用状況】 【施設利用者の把握】	⇒	【項目①】	⇒	【項目①】【設問2】
2	【施設の利用状況の推移(年度実績)】 【評価指標の設定】	⇒	【項目①】	⇒	【項目①】【設問4】
3	『資源投入量』【配置人員】【歳入】【歳出】【行政コスト】【単位当たりコスト】	⇒	【項目①】	⇒	【項目①】【設問3】
4	【施設の利用状況】 【施設利用者の把握】 【施設の利用状況の推移(年度実績)】 『資源投入量』【配置人員】【歳入】【歳出】【行政コスト】【単位当たりコスト】 【満足度調査及び情報提供状況】	⇒	【項目④】	⇒	【項目④】【設問4】
5	【施設改修】	⇒	【項目②】	⇒	【項目②】【設問4】
6	『資源投入量』【配置人員】【歳入】【歳出】【行政コスト】【単位当たりコスト】	⇒	【項目②】	⇒	【項目②】【設問3】
7	【土地基礎データ】	⇒	【項目③】	⇒	【項目③】【設問2】
8	【施設の利用状況】 【施設利用者の把握】 【施設の利用状況の推移(年度実績)】 【評価指標の設定】 『資源投入量』【配置人員】【歳入】【歳出】【行政コスト】【単位当たりコスト】	⇒	【項目①】	⇒	【項目①】【設問1】
9	【施設の利用状況】 【施設利用者の把握】	⇒	【項目④】	⇒	【項目④】【設問2】
10	【施設の利用状況の推移(年度実績)】 『資源投入量』【配置人員】【歳入】【歳出】【行政コスト】【単位当たりコスト】 【満足度調査及び情報提供状況】	⇒	【項目④】	⇒	【項目④】【設問6】
11	【施設の利用状況】 【施設利用者の把握】 【施設の利用状況の推移(年度実績)】 【評価指標の設定】 『資源投入量』【配置人員】【歳入】【歳出】【行政コスト】【単位当たりコスト】	⇒	【項目①】	⇒	【項目①】【設問5】
12	【施設の利用状況】 【施設利用者の把握】	⇒	【項目④】	⇒	【項目④】【設問1】
13	【施設の利用状況の推移(年度実績)】	⇒	【項目④】	⇒	【項目④】【設問5】
14	『資源投入量』【配置人員】【歳入】【歳出】【行政コスト】【単位当たりコスト】 【満足度調査及び情報提供状況】	⇒	【項目④】	⇒	【項目④】【設問3】

効率性	
評価	評価基準（得点率）
A	90% 以上
B	80% 以上90%未満
C	60% 以上80%未満
D	20% 以上60%未満
E	20% 未満

施設のあり方見直しのための「評価」

観点別 評価結果

P R 性

質問	観点別評価 対象項目		評価点	得点率	評価	
1	項目①	設問1	テレビや雑誌、新聞などのマスメディア等に取り上げられていますか。	2	55.6 %	C
2	項目①	設問2	PR力（影響を与える範囲）について検証できていますか。	2		
3	項目①	設問3	PRの結果、集客等の具体的な効果をもたらしていますか。	1		
計			5			
対象外質問数			0			

●得点率：評価点計 / (3点 × (3問 - 対象外質問数))

P R 性	
評価	評価基準（得点率）
A	90% 以上
B	70% 以上90%未満
C	50% 以上70%未満
D	30% 以上50%未満
E	30% 未満

施設のあり方見直しのための「評価」

観点別 評価結果

市民参画

質問	観点別評価 対象項目		評価点	得点率	評価
1	項目①・②	設問1	管理運営計画に市民（利用者）の意見が反映されていますか。	1	22.2 % E
2	項目①・②	設問2	市民（利用者）共働のもと、施設の管理業務に取り組んでいますか。	0	
3	項目①・②	設問3	市民（利用者）共働のもと、施設の運営業務に取り組んでいますか。	1	
計			2		
対象外質問数			0		

●得点率：評価点計 / (3点 × (3問 - 対象外質問数))

市民参画	
評価	評価基準（得点率）
A	90% 以上
B	70% 以上90%未満
C	50% 以上70%未満
D	30% 以上50%未満
E	30% 未満

施設のあり方見直しのための「評価」

総合評価 結果

総合評価

観点		観点別 評価結果	観点別 評価基準点	プラス 評価率	観点別 評価点数	総合評価 得点率	総合評価
基本観点	代替性	A	4	× 10	40	77.6%	C
	有効性	B	3	× 4	12		
	効率性	D	1	× 5	5		
プラス観点	PR性	C	2	× 1	2		
	市民参画	E	0	× 1	0		
総合評価点数					59		

総合評価	総合評価内容	総合評価判定基準 (得点率)	
A	そのまま存続	90%	以上
A-	管理運営方法の見直しを行ったうえで存続、併せて老朽改善策を検討すべき施設		
B	管理運営方法の見直しを行ったうえで存続	80%	以上90%未満
B-	管理運営方法の見直しを行ったうえで存続、併せて老朽改善策を検討すべき施設		
C	管理運営主体の変更をはじめとした運営方法を抜本的に見直したうえで存続	60%	以上80%未満
C-	管理運営主体の変更をはじめとした運営方法を抜本的に見直したうえで存続、併せて老朽度に鑑みて移転・統合を検討すべき施設		
D	施設の用途変更を含め市が保有する必要性があるかを検証し、施設の設置目的や財産の用途の変更など、有効活用策を検討すべき施設	20%	以上60%未満
D-	施設の用途変更を含め市が保有する必要性があるかを検証し、施設の設置目的や財産の用途の変更など、有効活用策を検討すべき施設、老朽度に鑑みて将来的に閉鎖を検討		
E	公の施設等としてではなく、統廃合や民間譲渡等廃止を検討すべき施設	20%	未満
E-	公の施設等としてではなく、統廃合や民間譲渡等廃止(閉鎖)を検討すべき施設		

※残存する法定耐用年数が5年未満または旧耐震基準建築の場合は、「-」（マイナス）判定となります。

総合評価コメント「施設のあり方方針」	公の施設としての見直し案
管理運営主体の変更をはじめとした運営方法を抜本的に見直したうえで存続	